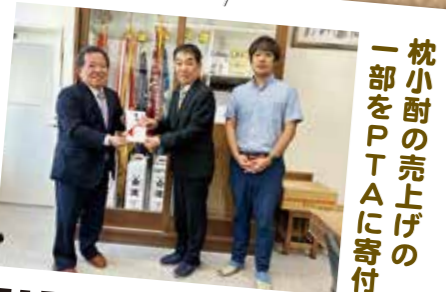


大堀公民館花見運動会を開催
 ■4月21日、立神小学校体育館で大堀公民館の花見運動会が開催されました。地域住民のほか外国人技能実習生6名も参加し、競技や枕崎音頭を踊って楽しみました。



別府中学校で茶摘み体験
 ■4月24日、別府中学校の全校生徒が農研機構果樹茶業研究部門で茶摘み体験を行いました。後日、茶葉はせん茶に加工され、学校と生徒それぞれに届けられました。



枕小耐の売上げの一部をPTAに寄付
 ■5月8日、薩摩酒造株式会社は、児童が学校の畑で育てたサツマイモを原料にした「カウントダウン枕小耐ファイナル」の売上げの一部を同校に寄付しました。



薩摩青雲丸が航海実習に出港
 ■5月10日、鹿児島水産高校の実習船薩摩青雲丸が70日間の航海実習に出港しました。5年ぶりに全校生徒が出港式に参加し、帽子を振って見送りました。



4名の市民が令和6年春の叙勲、第42回危険業務従事者叙勲を受章

令和6年春の叙勲、第42回危険業務従事者叙勲が発表され、それぞれの分野で功績を挙げた市民4名が受章しました。

春の叙勲 1 沖園強さん(旭日小綬章)
 平成3年5月に枕崎市議会議員に当選以来、8期32年にわたり議員の職を務めました。沖園さんは「いち庶民として議会へ声を届けてきました。たまさかに叙勲の栄に浴し、ひとえに支えていただいた市民や支持者のご訓導の賜物と感謝申し上げます。いささかなりとも、今後も社会に貢献していきたいです」と話しました。

春の叙勲 2 中原重信さん(旭日双光章)
 平成15年5月に市議会議員に当選以来、5期20年にわたり議員の職を務めました。中原さんは「公正、公平な議会運営に努めてきました。はからずも叙勲の栄に浴し、身に余る光栄です。支えていただいた地域や市民の皆さまに感謝申し上げますとともに、いささかでもご恩返しできればと念じています」と話しました。

春の叙勲 3 宮下博明さん(瑞宝単光章)
 昭和61年に刑務所の法務事務官として採用の後、平成元年から法務技官に着任以来、32年にわたりその職を務めました。宮下さんは「この度の受章は、今までご縁のありました皆様のおかげをもってのことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、『凡事徹底』の精神が少なからず功を奏したと思ひ、今後の人生の糧にもしたいと考えております」と話しました。

危険業務従事者叙勲 1 厚石賢太郎さん(瑞宝双光章)
 昭和48年に枕崎市消防本部に採用の後、40年にわたり勤務し、平成19年から平成25年には南薩地区消防組合の消防司令長を務めました。厚石さんは「現場では、二次的な事故等が起きないよう、気配り・目配りをしてきました。この度の受章は、消防職員をはじめ、消防団員や市民の皆様のご協力と、支えてくれた家族のおかげと感謝しています」と話しました。



台湾の高校生が枕崎を訪問
 ~鹿児島水産高校や漁業関連施設等で日本の漁業学ぶ

5月10日、台湾の海事水産類技能コンテストで上位入賞した台湾の高校生12名を含む研修団が枕崎を訪れ、鹿児島水産高校や漁業関連施設等を視察しました。鹿児島水産高校では、操船シミュレーター体験や機関工学の実習室等の見学を行い、鹿児島水産高校の生徒たちとかつお節削り対決などで交流しました。

操船シミュレーターを体験した呂宜諺さんは「台湾では大学の施設で体験したことがありましたが、操作が少し違って、国ごとの違いを感じることができました。また、先生や生徒の皆さんに親切に教えていただき、楽しい時間を過ごすことができました」と話しました。



薩摩リフターズ県大会で3階級制す
 ~第23回鹿児島県パワーリフティング選手権大会

4月21日、国分海浜公園体育館で開催された第23回鹿児島県パワーリフティング選手権大会において、枕崎で活動する薩摩リフターズの3名が出場し、59kg級、74kg級、83kg級でそれぞれ優勝しました。

写真左から黒瀬俊介さん(59kg級)、味園恵さん(74kg級)、味園修さん(83kg級)の3名は、今大会で全国大会の標準記録を達成し、11月に開催される日本グランプリや来年3月に開催される全日本パワーリフティング選手権大会に出場予定です。3名の全国での活躍を期待しています！



100歳の誕生日を迎えました
 ~土屋素さん(桜山本町)

4月28日に土屋素さんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。本市出身の土屋さんは、4人の子どもに恵まれ、若い頃は石切り職人として働いた後、農業をしており、みかんやお米を育てていました。趣味はカラオケで、長生きの秘訣は「テレビを見ること」と話します。これからも元気で長生きしてください。



子どもたちの元気な声響く
 ~第39回こどもの日かつおまつり

「第39回こどもの日かつおまつり」が5月5日、地場センター周辺で行われました。会場では、ハーモニーネットワーク委員会による茶節のふるまいやカツオの唐揚げの販売に行列が並んだほか、南薩地域の特産品を中心としたさまざまな出店に多くの人で賑わいました。メインステージでは、恒例のかつお一本釣り大会や鰹節削り大会が行われ、幼児から中学生まで多くの子どもたちが参加し、大いに盛り上がり、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。